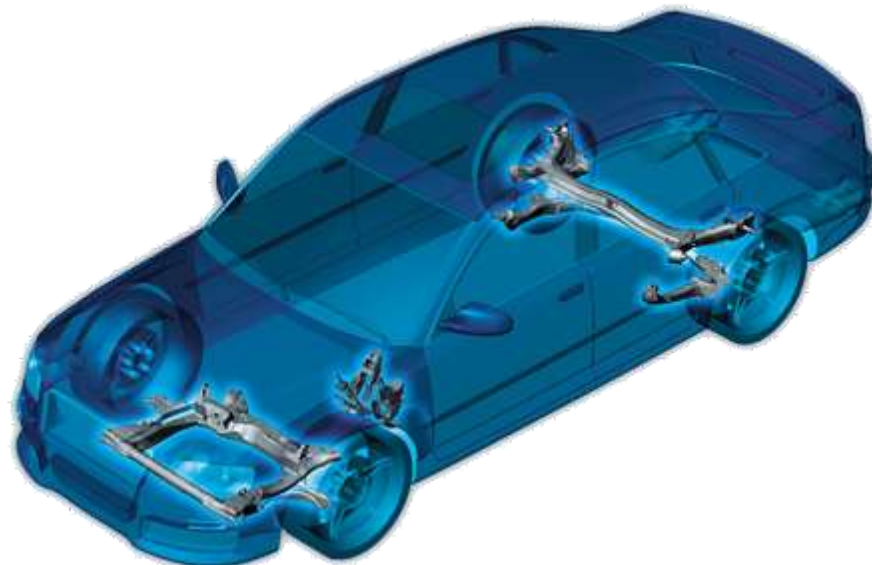


2019年3月期 第2四半期決算説明会

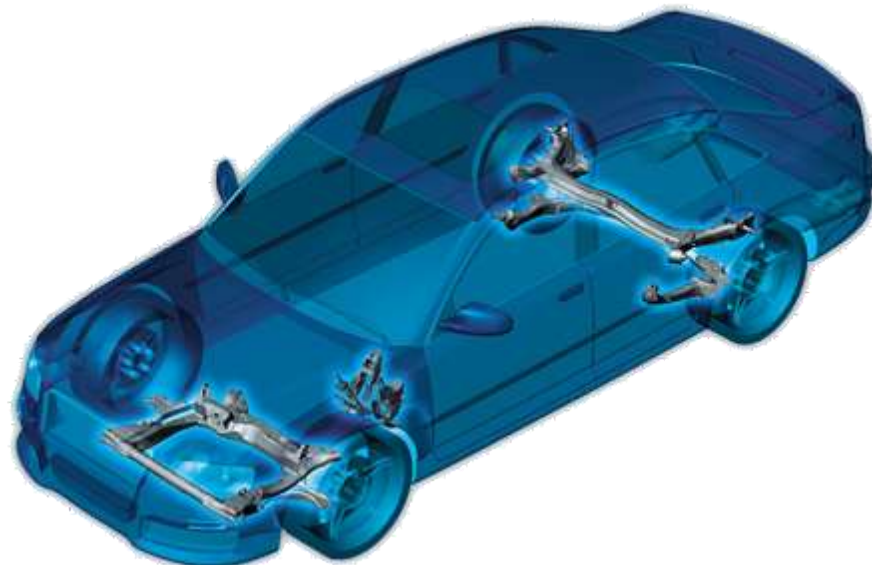
2018年11月8日
株式会社エフテック
東証1部:7212
<http://www.ftech.co.jp>

1. 決算概要
2. 業績予想
3. 経営戦略
4. トピックス



代表取締役社長
福田 祐一

1. 決算概要
2. 業績予想
3. 経営戦略
4. トピックス



代表取締役社長
福田 祐一

連結決算概要(前年同期比)

(単位:百万円)

	2018年3月期 2Q累計実績		2019年3月期 2Q累計実績		増減	
売上高	107,511	—	115,393	—	7,882	7.3%
営業利益	3,902	3.6%	2,995	2.6%	▲907	▲23.3%
経常利益	3,248	3.0%	2,567	2.2%	▲680	▲20.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,969	1.8%	1,398	1.2%	▲570	▲29.0%
1株利益(円)	114.89	—	74.89	—	▲40.00	▲34.8%

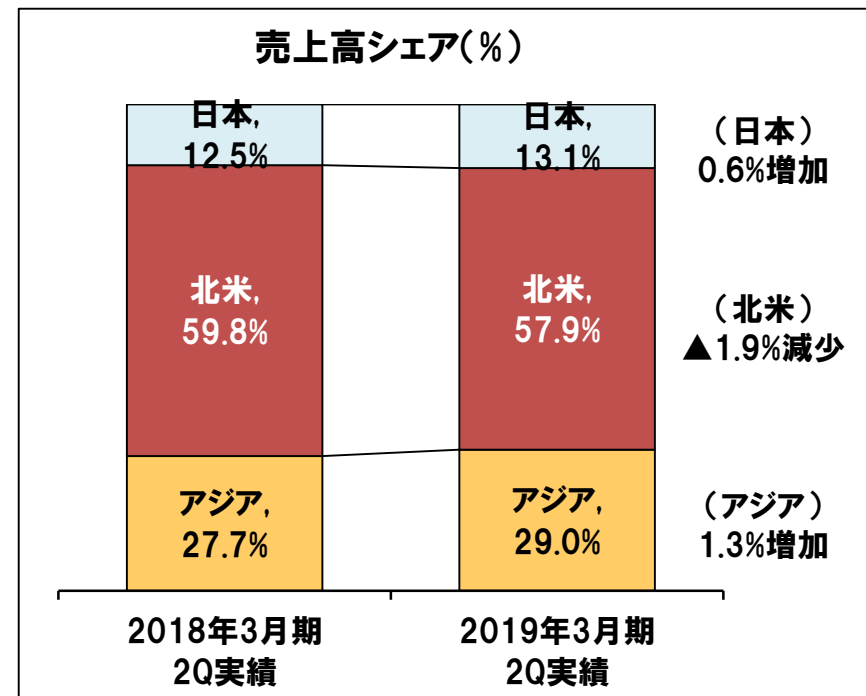
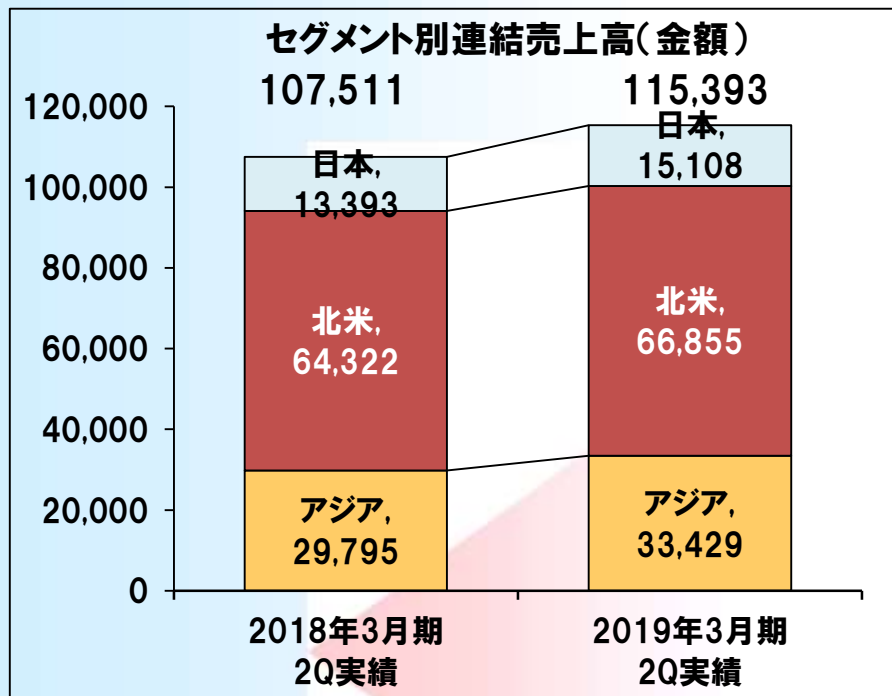
為替

	2018年3月期2Q	2019年3月期2Q	増減額
1US\$	111.29円	110.71円	▲0.58円
1CAN\$	86.16円	85.08円	▲1.08円
1人民元	16.37円	17.00円	0.63円

増収減益(製品売上増加による増収、減益は商品売上減少及び高付加価値製品の終了)

連結売上高(前年同期比)

(単位:百万円)



	2018年 3月期2Q	2019年 3月期2Q	増減	増減率	為替影響	実質増減	増減率
日本	13,393	15,108	1,715	12.8%	—	1,715	12.8%
北米	64,322	66,855	2,533	3.9%	▲851	3,384	5.3%
アジア	29,795	33,429	3,633	12.2%	997	2,636	8.8%
連結	107,511	115,393	7,882	7.3%	146	7,736	7.2%

全セグメントで増収(増加額では北米、増加率では日本)

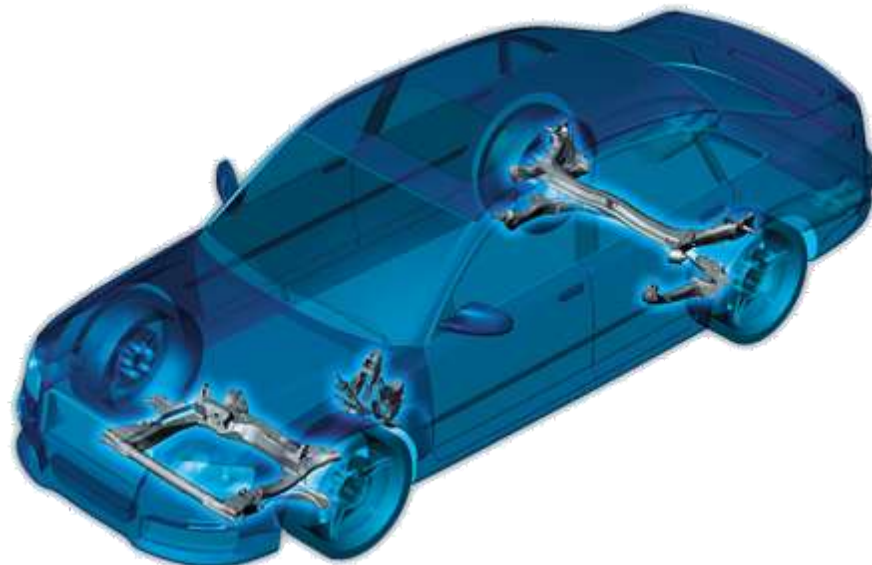
セグメント別営業利益(前年同期比)

(単位:百万円)

	金額			
	2018年 3月期 2Q実績	2019年 3月期 2Q実績	増減	増減率
日本	935	232	▲703	▲75.2%
北米	727	▲319	▲1,046	▲143.9%
アジア	2,297	2,810	512	22.3%
合計	3,960	2,723	▲1,237	▲31.2%
調整	▲57	271	329	-%
連結	3,902	2,995	▲907	▲23.3%

シェア		
2018年 3月期 2Q実績	2019年 3月期 2Q実績	増減
24.0%	7.8%	▲16.2%
18.6%	▲10.7%	▲29.3%
58.9%	93.8%	35.0%
101.5%	90.9%	▲10.6%
▲1.5%	9.1%	10.6%
100.0%	100.0%	0.0%

1. 決算概要
2. 業績予想
3. 経営戦略
4. トピックス



代表取締役社長
福田 祐一

連結業績予想(2019年3月期 通期予想)

(単位:百万円)

	2019年3月期通期 前回発表		2019年3月期通期 今回発表		増減	
売上高	226,000	—	233,000	—	7,000	3.1%
営業利益	7,500	3.3%	6,500	2.8%	▲1,000	▲13.3%
経常利益	6,600	2.9%	5,600	2.4%	▲1,000	▲15.2%
親会社株主に帰属 する当期純利益	4,000	1.8%	3,100	1.3%	▲900	▲22.5%
1株利益(円)	214.15	—	165.97	—	▲48.18	▲22.5%

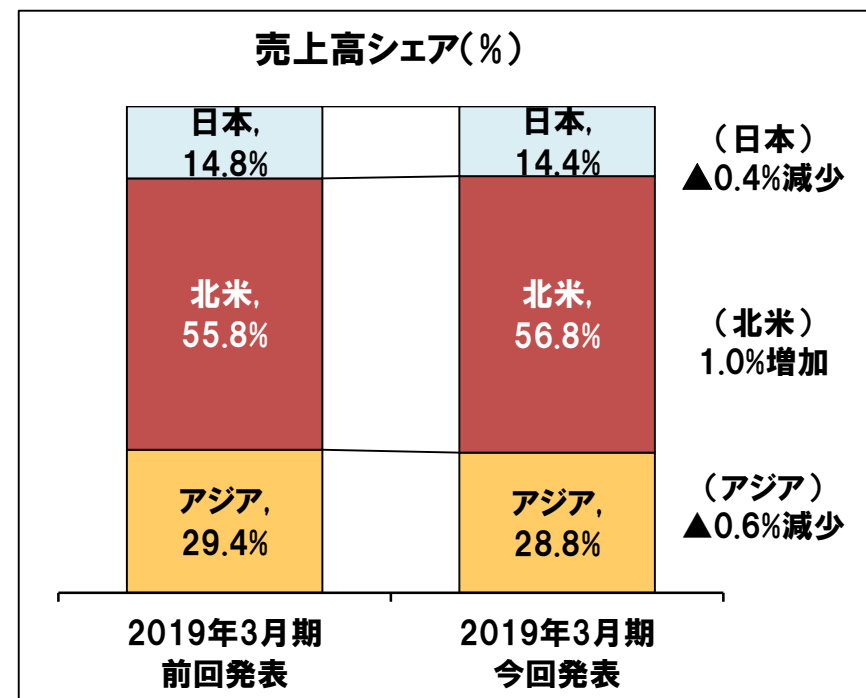
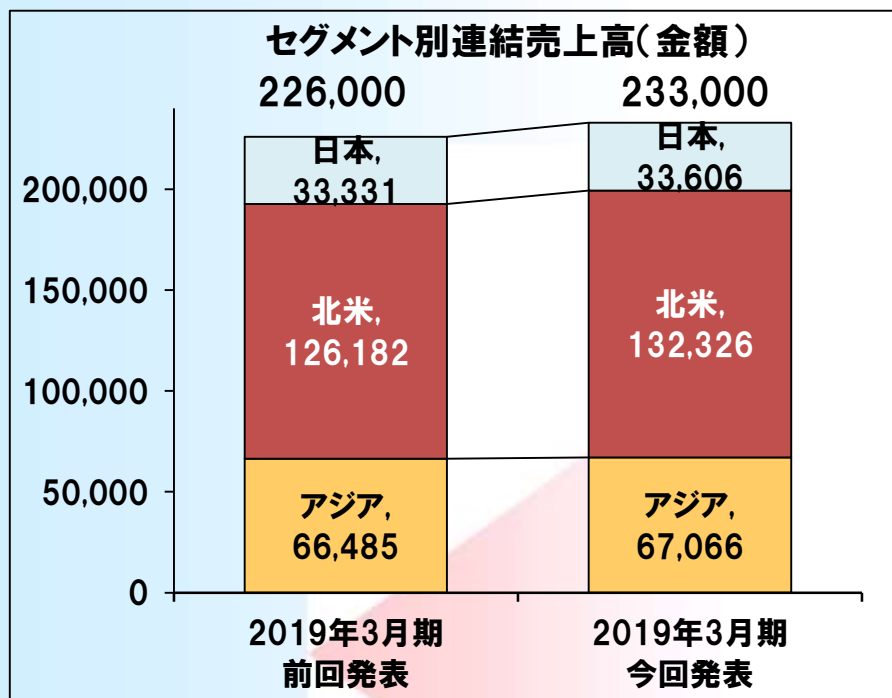
為替

	前回発表	今回発表	増減額
1US\$	105.00円	107.86円	2.86円
1CAN\$	81.00円	83.04円	2.04円
1人民元	16.60円	16.73円	0.13円

増収増益(為替影響が主要因)

連結売上高(2019年3月期 見直計画)

(単位:百万円)



連結売上高増減

	前回発表	今回発表	増減	増減率	為替影響	実質増減	増減率
日本	33,331	33,606	274	0.8%	—	274	0.8%
北米	126,182	132,326	6,143	4.9%	3,471	2,671	2.1%
アジア	66,485	67,066	581	0.9%	647	▲66	▲0.1%
連結	226,000	233,000	7,000	3.1%	4,119	2,880	1.3%

増収(日本・北米で増収、アジアは計画値で推移)

セグメント別営業利益(2019年3月期 通期予想)

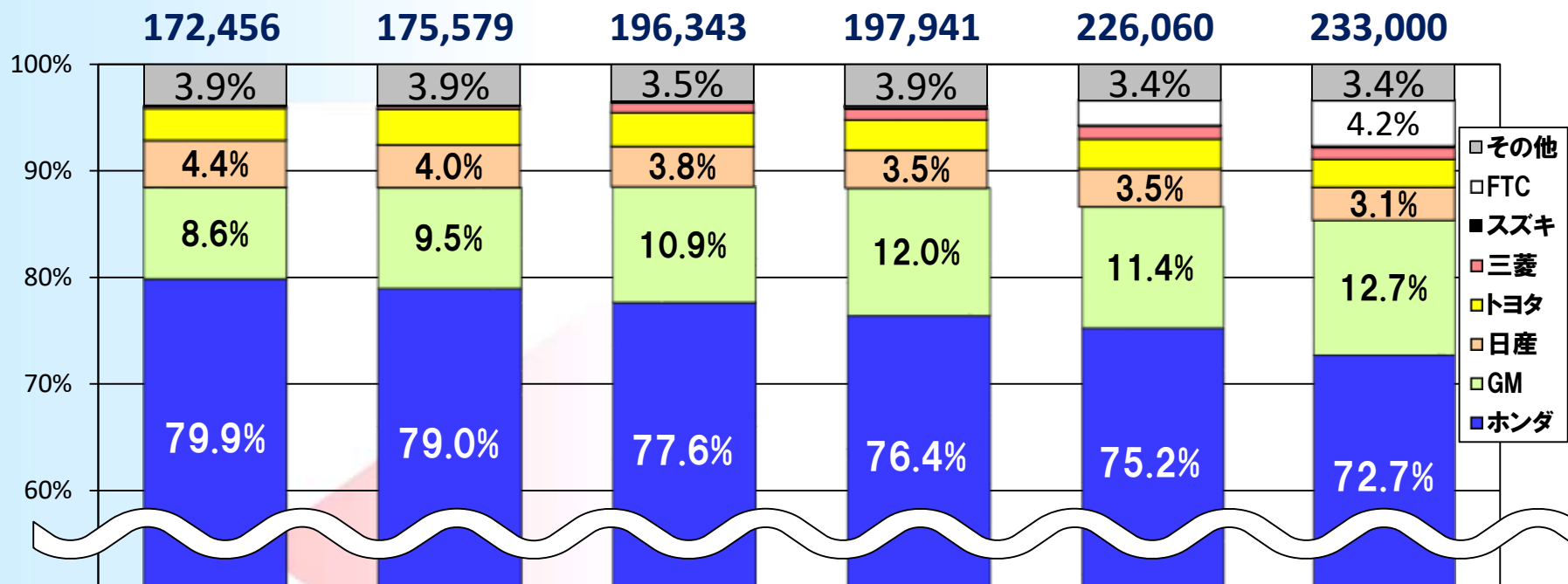


(単位:百万円)

	金額			
	2019年 3月期 前回	2019年 3月期 今回	増減	増減率
日本	332	482	150	45.1%
北米	1,723	669	▲1,054	▲61.2%
アジア	5,955	5,299	▲655	▲11.0%
合計	8,012	6,451	▲1,560	▲19.5%
調整	▲512	48	560	109.4%
連結	7,500	6,500	▲1,000	▲13.3%

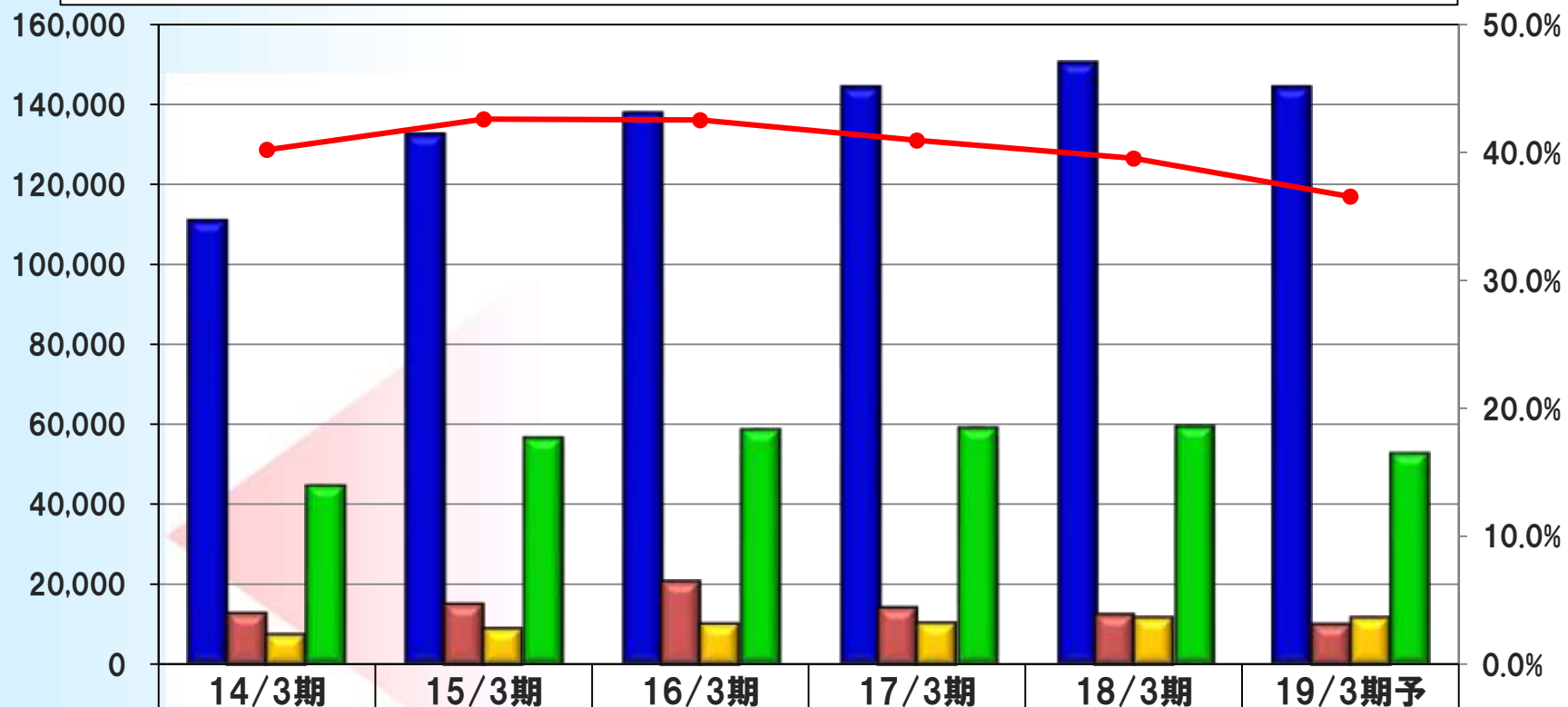
シェア		
2019年 3月期 前回	2019年 3月期 今回	増減
4.4%	7.4%	3.0%
23.0%	10.3%	▲12.7%
79.4%	81.5%	2.1%
106.8%	99.3%	▲7.5%
▲6.8%	0.7%	7.5%
100.0%	100.0%	—

得意先別売上高の推移



	14/3期	15/3期	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期計画
ホンダ	137,708	138,635	152,435	151,282	170,089	169,339
GM	14,880	16,622	21,345	23,683	25,782	29,480
日産	7,536	7,024	7,435	6,985	7,957	7,257
トヨタ	5,209	5,875	6,204	5,658	6,428	6,117
三菱	370	526	1,803	2,036	2,648	2,668
スズキ	127	135	321	197	269	540
FTC(新)				373	5,183	9,828
その他	6,626	6,762	6,800	7,728	7,705	7,771
	172,456	175,579	196,343	197,941	226,060	233,000

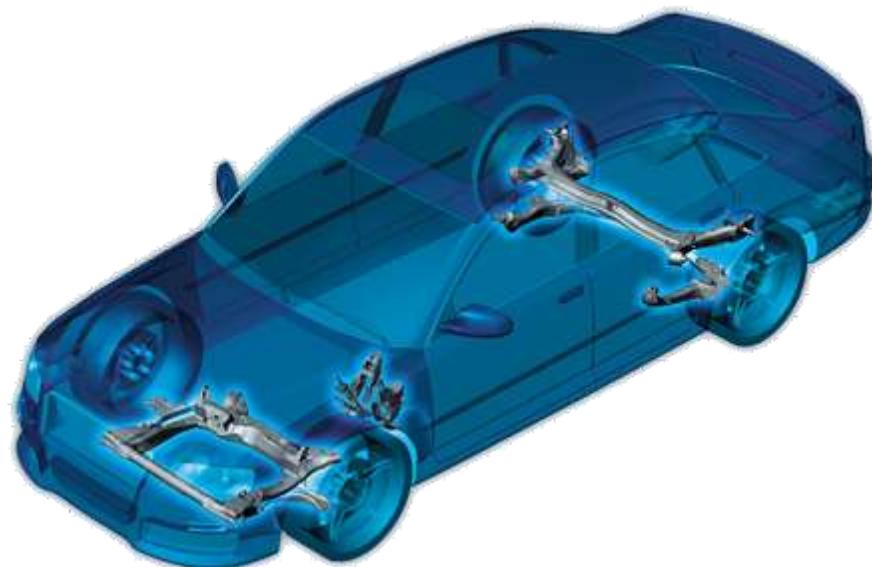
■ 総資産 ■ 設備投資 ■ 減価償却費 ■ 有利子負債 ● 有利子負債依存度



	14/3期	15/3期	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期予
総資産	111,062	132,697	137,980	144,420	150,525	144,414
設備投資	12,715	14,987	20,578	14,094	12,436	10,065
減価償却費	7,508	8,920	10,081	10,335	11,667	11,653
有利子負債	44,679	56,570	58,686	59,129	59,508	52,776
有利子負債依存度	40.2%	42.6%	42.5%	40.9%	39.5%	36.5%

今回決算短信の18/3月期(前期)の総資産は「『税効果に係わる会計基準』の一部改正」を遡及適用した数値であり上図と一致しておりません

1. 決算概要
2. 業績予想
3. 経営戦略
4. トピックス



代表取締役社長
福田 祐一

会社方針 Back to Basics, Challenge for New

2017/3月期

2018/3月期

2019/3月期

2020/3月期

実績

連結売上高
1,979 億円

営業利益率
4.1%

有利子負債依存度
40.9%

健全なる財務体質
高収益企業の実現

目標

連結売上高
2,120 億円

営業利益率
5.0%

有利子負債依存度
35.0%

Back to Basics

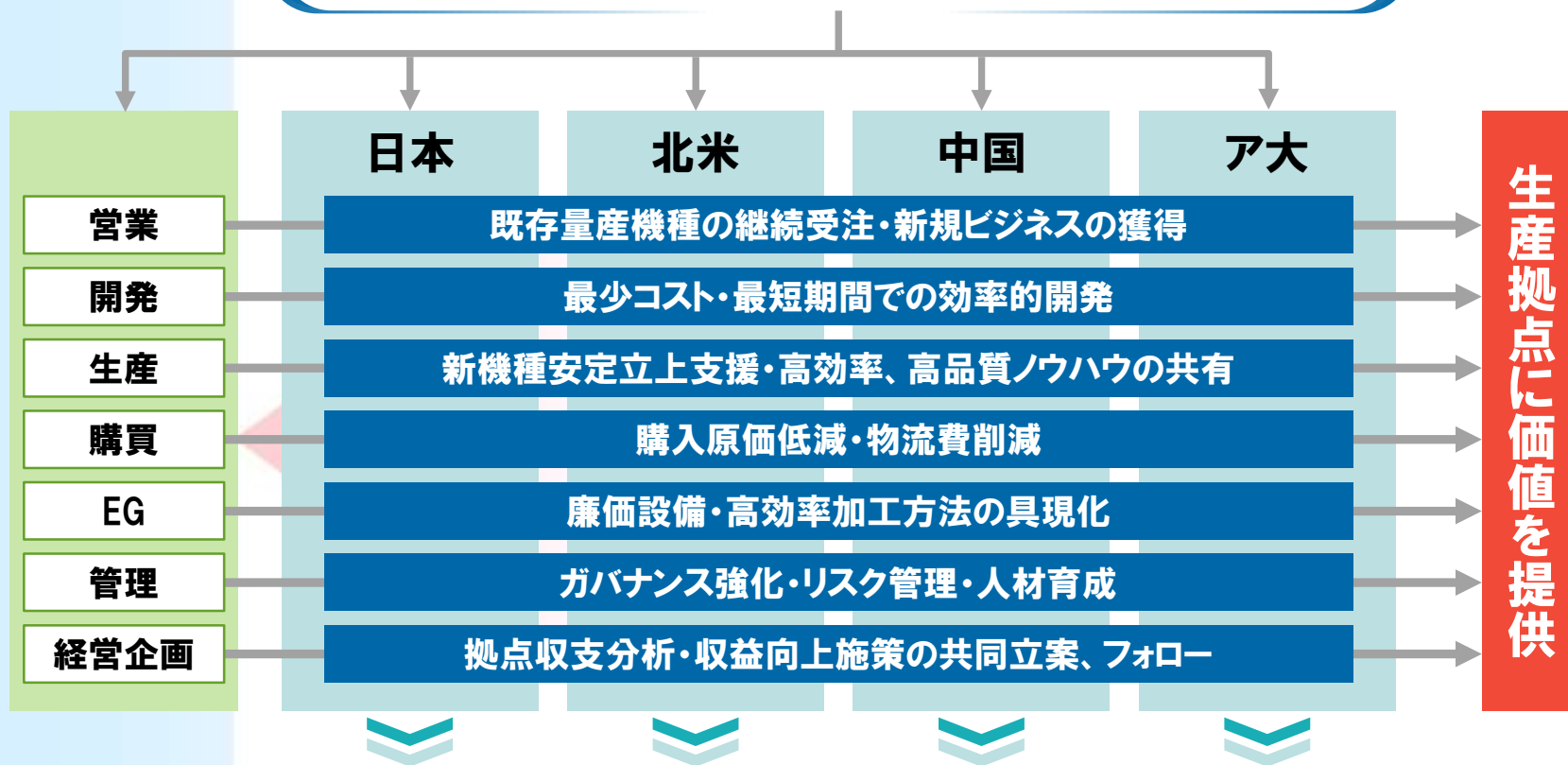
- お客様に最高の価値を提供する
- 生産拠点は、利益を最大化する
- 機能組織は、コストの最小化と生産拠点へ価値を提供する
- 健全な財務体質を構築する

Challenge for New

- 新規重要顧客を獲得、拡大する
- 画期的新製品を提案する
- 新技術・新加工方法を確立する
- 新規事業の企画・推進

日本からの発信力アップ

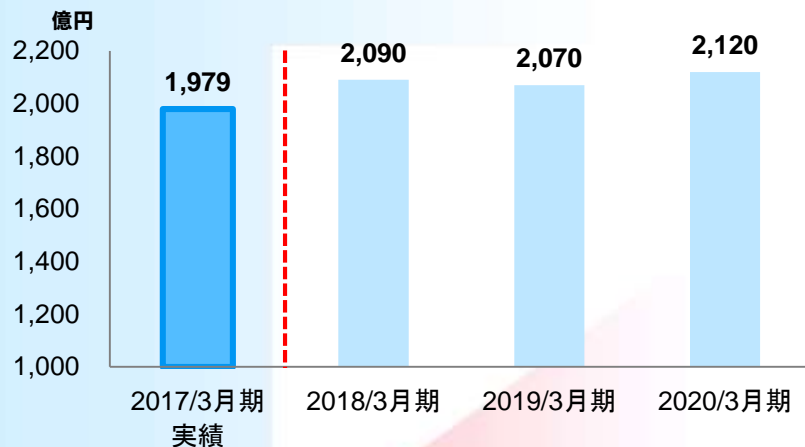
Back to Basics, Challenge for New



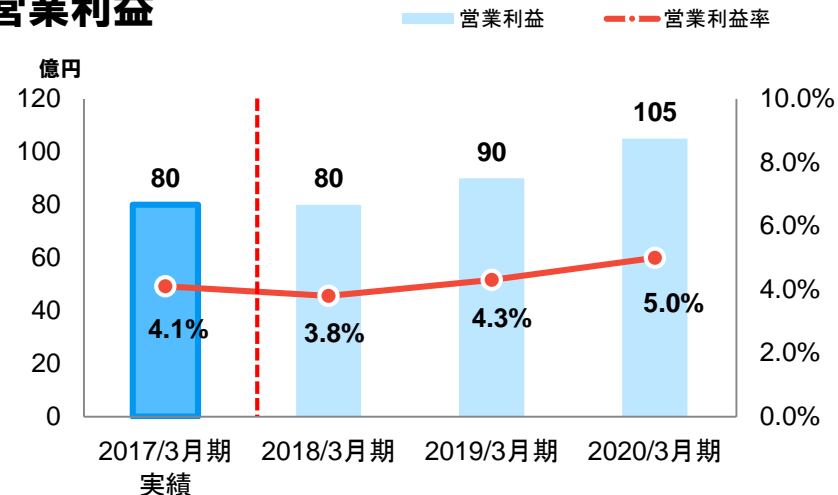
生産拠点はプロフィットセンターとして中期目標を必達

中期3力年経営計画 ~経営目標~

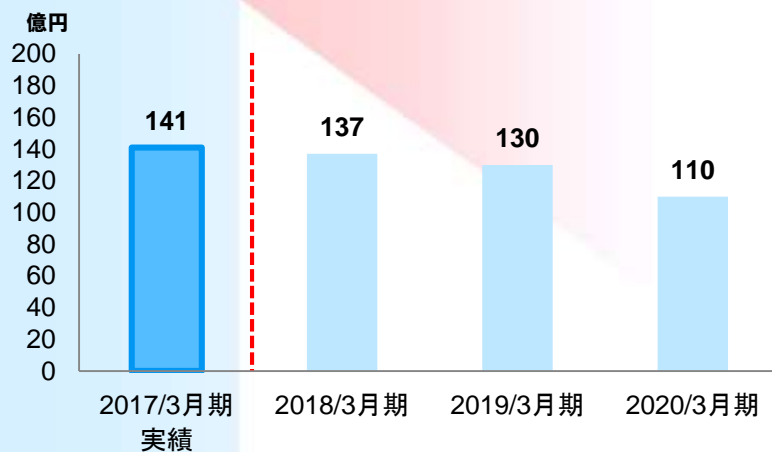
売上高



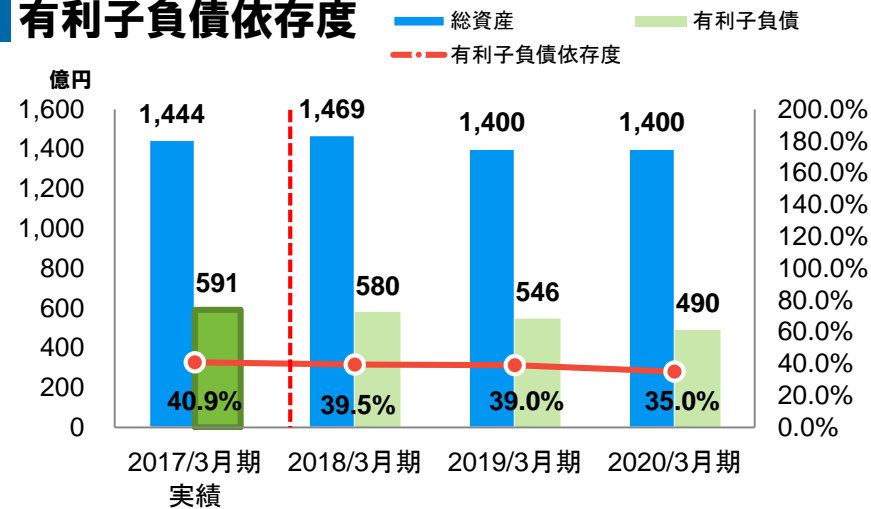
営業利益



投資計画



有利子負債依存度



中期経営計画2年目 計画対実績

(億円)

	中期経営計画 2年目	2019年3月期 第2四半期実績	進捗率
売上高	2,070	1,153.9	55.7%
営業利益	90	29.9	33.2%
投資計画	130	29.4	22.6%
有利子負債額 [※]	546	527.7	達成
有利子負債依存度 [※]	39.0%	36.5%	達成

売上高、投資計画、有利子負債額、有利子負債依存度は計画通り進捗
営業利益は計画に対して33%の進捗率であり、北米地域の改善が課題

※…通期計画値

北米地域の問題



コストアップ
労務費・外注費＋付随

ロスの増加
仕損/追加検査の発生

生産効率低下
更なる外注の発生

収支の悪化

北米地域の改善への取り組み



コスト削減
内作取り込み、倉庫削減、要員削減、etc

ロスの削減
プレス単品精度改善、仕損削減、etc

生産効率アップ
作業者習熟度アップ、自動化の推進、etc

本社からのサポート機能組織による支援実施中

本社・拠点一体での改善策を展開中

外部要因による改善効果圧迫

米国通商政策 : カナダ、メキシコからの輸入材料に関税負荷

主要得意先 : 機種MIXの変化

労務コスト : カナダで生産増加により経費増加

ダウン

収益

アップ

内部改善策への取り組みは概ね計画通り

【コスト削減】
内作取り込み
倉庫削減
要員削減
etc

【ロスの削減】
プレス単品精度改善
仕損費削減
etc

【生産効率アップ】
作業者習熟度アップ
自動化の推進
etc

内部改善策への取り組みを更にスピードアップさせていく

1. 決算概要
2. 業績予想
3. 経営戦略
4. **トピックス**



**代表取締役社長
福田 祐一**

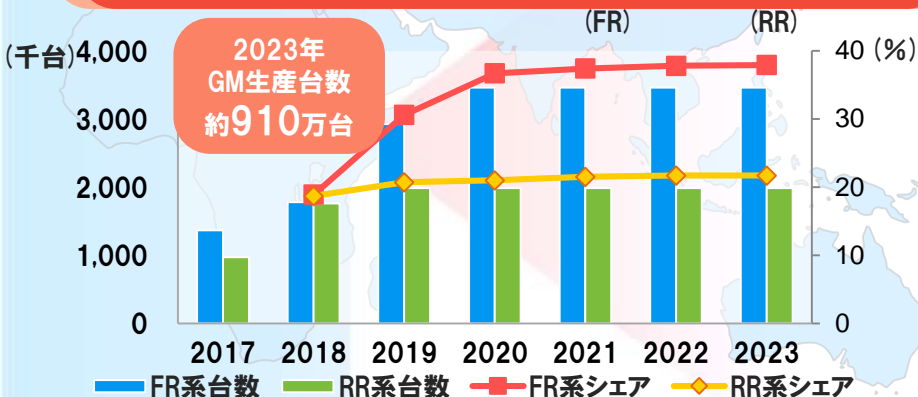
Honda

全グローバル車種 部品供給率 100%
軽量化と強度・剛性を両立し、高い信頼性を獲得。

外資系メーカー

GM サスペンション/マウント部品供給

2018年 世界生産シェア 18.9%/18.7%

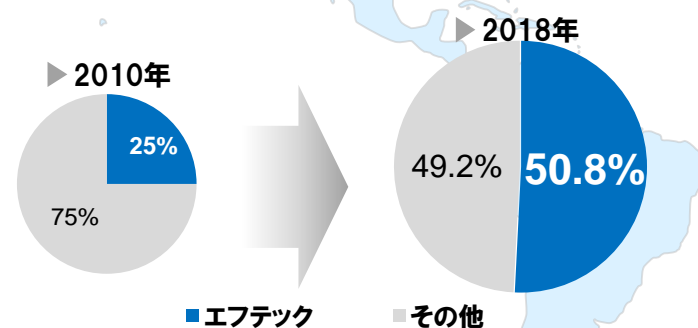


サスペンション/マウント部品中心
 ~新規顧客からも新規受注/生産開始~

日系メーカー

日産 コントロール部品供給

2018年 世界生産シェア 50.8% 獲得



コントロール部品中心
 ~三菱、スズキからも受注~

得意先のニーズに的確に応える事で
国内外のOEMメーカーから継続/新規受注獲得

受注状況 ~2019年3月期上期生産開始新機種~

地域	得意先	4月	5月	6月	7月	8月	9月
日本	HONDA			CR-V 久喜 ⇒日本	VEZEL 久喜 ⇒日本 (EU向け)		
	OTHER						
北米	HONDA		RDX INSIGHT FPA ⇒米国				
	OTHER						
中国	HONDA	CDX FTZ ⇒中国				CRIDER FTZ ⇒中国	SPIRIOR FTW ⇒中国
	OTHER			KIKCS FTZ ⇒台湾			ORLANDO FTW ⇒中国
ア 大	HONDA						
	OTHER	ERTIGA FTI ⇒インドネシア	新規F FMTL ⇒タイ			WGN-R VEEGEE ⇒インド	ERTIGA VEEGEE ⇒インド

【見方】
機種名
 生産拠点
 ⇒納入先

CR-V

量産:2018年6月

生産:日本(久喜)

受注:サスペンション部品

マウント部品

ペダルコントロール部品

CRIDER、SPIRIOR

量産:2018年9月

生産:中国(中山)

中国(武漢)

受注:サスペンション部品

マウント部品

ERTIGA、WGN-R

量産:2018年4月、6月、8月

生産:インドネシア(FTI)

インド(VEEGEE)

受注:ペダルコントロール部品

MOUNT系



SUS系



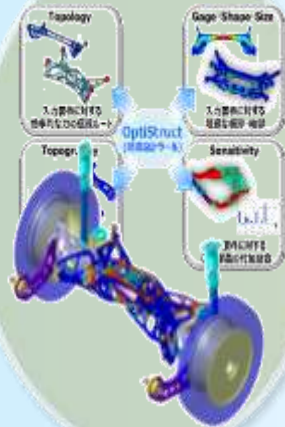
CONTL系



主要得意先のニーズに的確に応え主要部品を受注からの量産
積極的な拡販活動で新機種向け部品の受注からの量産

<エフテックの独自開発技術>

人のノウハウとシミュレーション技術
を融合し最適設計を実現



OPTISTRUC
(最適設計ツール)

LINER ANALYSIS

Crush: Abaqus

NV: NASTRAN

Sus Characteristic: ADAM

設計精度の向上

軽量化の
更なる向上

開発スピード
の向上

・製品性能 (強度・剛性・振動)
・製造領域 (プレス・溶接・塗
装)
まで加味した設計を実現

空間梁解析

強度・剛性・衝突性能と
軽量化を両立

・試作機会の極少化
・設計精度の向上

開発期間2カ月短縮

素材メーカーとの共創

-材料進化-

適用グレード拡大 (超ハイテン化)
590/780材 ⇒ **980/1180材**

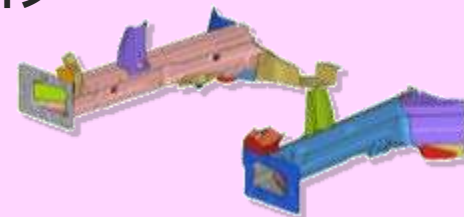
材料・工法に合わせた
製品仕様/形状のアウトプット

・衝突性能
・剛性 (操安/NV)
・強度
からの最適板組み

-加工技術
・成形手法
・CAE/予測技術
・材料知見
・評価指標

ボディ骨格部品

- ◆材料
・鋼板: 高ハイテン薄板メイン
(780~980Mpa級)
- ◆接合
・抵抗溶接メイン
(SPOT/Projection Weld)



Bodyメーカーとの共創

シャーシ足廻り部品

- ◆材料
・鋼板: 比較的厚板メイン
(270~590Mpa級)
- ◆接合
・MIG溶接メイン (P.W.併用)



両社Know Howを融合
生き残りをかけた新たな領域へチャレンジ

超細密塑性加工



○ 4か所増肉

//// 全面減肉

素材板厚から
『+1mm』の増肉
『-3mm』の減肉
⇒END PLATE **18%軽量化**



+1mm

-3mm

素材

増肉

減肉



モノづくり
部品大賞

日刊工業新聞社様主催
『超』モノづくり部品大賞2018
モビリティ関連部品賞 受賞

摩擦攪拌接合 (FSW) 技術を応用した鉄とアルミの異材接合



世界初 **4つ**の新技术

- 異種金属接合技術
- 防錆技術
- FSW接合システム
- 非破壊検査システム

⇒FR SUBFRAMEの

軽量化 -25%
省電力化-50%
運動性能 20%向上
を実現



**第60回
大河内記念技術賞
受賞**

～日経IRフェア出展～

日時:2018年8月31日～9月1日

場所:東京ビッグサイト



～個人投資家様向け会社説明会～

日時:2018年10月24日

場所:草加市文化会館



～機関投資家様向け施設見学会～

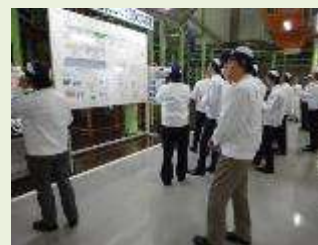
日時:2018年9月28日

場所:芳賀テクニカルセンター



日時:2018年10月12日

場所:亀山事業所



～人とくるまのテクノロジー展2018～

日時:2018年7月11～13日

場所:ポートメッセ なごや

来場者数:41,306人

ブース出展、

CFRTP応用技術、FSW異材接合、

インバーション、差厚クラッシューションなど

進化系RR AXLEにも
多くの方々が関心を示す



～第9回クルマの軽量化技術展～

日時:2019年1月16日～18日

場所:東京ビッグサイト

出展決定

認知度 (昨年比)

34% ⇒ **58%**
24%UP!!

(当社アンケート調べ)

OEMメーカーに当社の開発技術力を積極的にPR

2018年10月11日：シンガポール 環境省より
「エネルギー効率国家
パートナーシップ (EENP) 賞2018」
講演要請があり参加

EENP
AWARDS
2018



INDUSTRIAL ENERGY EFFICIENCY
SHARING SESSION



Global Ftech
ENERGY
Management System

【参考】

- 2016年6月：Energy Management Insight Award
- 2017年1月：省エネ大賞 省エネ事例部門
省エネルギーセンター会長賞受賞
- 2017年1月：Honda優良感謝賞(環境)
Hondaグリーン大会
グローバル大会 優秀賞
日本地域大会 優秀賞

企業の森づくり

従業員の環境教育・
環境保全意識の向上



「埼玉県森づくりサポーター」として企業の
森づくりを通じて環境保全や社会貢献に尽力

奨学財団

2017年4月より公益財団
エフテック奨学財団の奨学活動開始

首都圏の大学32校の44名^{*}の学生に
対し奨学金給付を開始 ※2018年度対象者



奨学金給付を通じ世界で
活躍できる人材の育成支援

救援物資の提供

平成30年7月

西日本豪雨

提供先:岡山県総社市
(災害対策本部)

提供品:缶詰パン

数量:792缶

被害にあわれた皆様に
心よりお見舞い申し上げます



芳賀テクニカルセンター



救援物資(缶詰パン)



総社市長様からの御礼状

過去の被災経験から災害対応用食糧を備蓄
災害対策本部を通して被災者へ物資を提供

ご清聴ありがとうございました



本資料で記述している将来予測及び業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により実際の業績と記述としている将来見通しは、大きく異なる可能性があることを御承知おき下さい。

IR情報のお問い合わせ、取材申し込みは

株式会社エフテック 管理本部 総務ブロック/経理ブロック

代表TEL 0480-85-5211

Mail webmaster@ftech.co.jp